

「5R」「3R」って何？

リサイクルの話をするとき、「3R」とか「5R」とかを耳にされた事があると思います。

3Rは、Reduce（リデュース）ゴミを減らす、Reuse（リユース）再利用する、Recycle（リサイクル）再び資源として利用するの3つの英語の頭文字を表したもので、この3つのRがゴミをできるだけ出さない社会（循環型社会）をつくるための基本的な考えです。

この3Rに、不要なものは買わない Refuse（リフューズ）、修理して長く使い続ける Repair（リペア）を加えた「5R」です。



▲廃用油を使ったせっけんづくりを体験（岸本小学校）

リサイクルにご協力を
まず、使いすてや大きな包装の製品は買わないようにしてゴミを増やさないようにしましょう。さらに、長持ちする製品を買ったり、捨てずに何度も修理して使うことも大切です。また、ガラスびんをリ

家庭のごみとリサイクル（5R）

ターナブルで何度も使ったり、フリーマーケットでいらぬものを交換したりしてリユースを心がけましょう。それでもごみになるものは、必ず分別して出すようにしましょう。「混ぜればごみ、分ければ資源」と言われるように、燃えるごみに出してしまえば灰にしかならない古紙類も分別すれば、そのほとんどが再資源化されています。一人ひとりが分別したごみの量は少なくても、町民みんなで取り組みを少くなくすることが可能です。これからの地域のリサイクル活動にご協力ください。

美しい地球を次の世代に

環境にやさしいライフスタイルへの第一歩

11月10日、事業者や消費者団体、行政などでつくる県内3地域の各「ノーレジ袋推進協議会」は、初めての県内統一「ノーレジ袋デー」をスーパーなど協力店275店舗で実施し、消費者に買い物袋（マイバッグ）の持参を呼びかけました。

町内でも、(有)いしかわ、(株)ジュンテン、(株)鳥取西部ジェイエショップの店舗でノーレジ袋運動が行われました。広報や広告、キャンペーン活動など事前



▲事前に行ったキャンペーンの様子

のPRによりマイバッグを持参する買い物客が多く、環境に対する取り組みへの意識の高さが感じられました。

家庭から出たごみはどこへ？

伯耆町のごみの内訳

